

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○9月12日～

英国では首相の交代とエリザベス女王の崩御という大きな出来事がありました。ポンドの動きに特に混乱はありません。

今週は欧米で消費者物価指数が発表されます。そして、米国のメジャーS&Pにあたるトリプルウィッチングが週末にあるため株価が大きく動く可能性もあります。

円安の動きは、岸田総理と日銀の黒田総裁が会談したことで少しおさまりつつありますが、具体的に行動するようには見えないため再び、円安の動きが再燃するかもしれません。

<ドル/円>

ドルは下げてきましたが140円台を維持している間は堅調な動きが続きそうです。

7月高値の139.4円を割り込むと流れが変わってくる可能性が出てきます。

上値は143円あたりに抵抗があるため超えることができない場合は安値更新に注意。

<気になるクロス円>

豪ドルは強い動きになっています。

ユーロは145円を超えることができない場合は反落してきそうです。

株が大きな調整となるとクロス円も調整入りのリスクが出てきます。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では7月機械受注、8月貿易統計などがあります。

米国では8月消費者物価指数、8月卸売物価指数、9月ニューヨーク連銀製造業景気指数、8月小売売上高、9月フィラデルフィア連銀製造業景気指数、前週分新規失業保険申請件数、8月鉱工業生産、9月ミシガン大学消費者信頼感指数、7月対米証券投資などが発表されます。

欧州ではユーロ圏とドイツで9月ZEW景況感調査、8月消費者物価指数、ユーロ圏で7月鉱工業生産などがあります。

ほかにはニュージーランドで4-6月期GDP、英国で7月GDPの発表などがあります。